

<b>交渉情報</b>	<b>NO.45</b>	信越支社郵便事業本部 オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2012年10月31日	添付資料:2枚

## 平成24年度特産品・年末年始期の借入施設について

信越支社郵便事業本部オペレーション部は、本日（10月31日）「平成24年度特産品・年末年始期の借入施設」について地方本部に説明してきました。

標記については、「年末年始オペレーション推進計画」の要求項目での「ゆうパック対策に関する借上施設」における地方交渉で、別途説明としていたものです。

今年度はコスト低減の面から昨年度施設を使用した結果、必要性の薄い施設について統合若しくは使用しない方向で検討されていきました。今年度、使用する借入施設一覧は支社資料参照願います。

地本では、廃止及び集約となる施設を質したところ、（1）新潟県関係では新潟ターミナル分室から東港分室への変更、（2）長野県関係では、① 川中島集積所及び塩崎集積所が廃止され千曲分室に、② 豊井集積所及び湯田中集積所が廃止され中野分室に、③ 長野ターミナル分室の廃止（H24年4月までの契約のため）、④ 上田分室が廃止され佐久分室等に集約されました。

なお、①・②は集約した方が集荷及び区分等が効率的に行なえる、④は分室の契約が出来なかったことによるものです。

集積所等の廃止及び集約は新潟県関係では0、長野県関係で4ヶ所としており、コスト低減面で効果ありとしています。

廃止又は集約により、集約する分室等のスペース等、業務面に支障がないか問うたところ、昨年度の実績、今年度の予想荷量から対処可能としています。

なお、「分室」は管外への差立を行なう施設、「集積所」は近隣局や分室への運送を行なう施設、「待機所」はゆうパックの取集拠点としています。

【労使対応】      年繁計画と合わせた単局窓口